

## 平成 29 年度 第 9 回 介護・医療連携推進会議 記録

### ● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス麻生

### ● 開催日時・場所

日時	平成 29 年 4 月 13 日 (木) 14 : 00~15 : 30
場所	福祉パルあさお 会議室

### ● 参加者 (順不同)

NO	所属(役職)	氏名
1	新百合ヶ丘居宅介護支援事業所さくらそう	A 様
2	新百合ヶ丘ヘルパーステーションのぎく	B 様
3	ゆうき訪問看護リハビリステーション宮前	C 様
4	栗木台地域包括支援センター	D 様
5	ケアーズ訪問看護リハスピリテーション新百合ヶ丘	E 様
6	川崎市社会福祉協議会あさお訪問介護支援事業所	F 様
7	ツクイ川崎よみうりランド	G 様
8	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	H 様
9	居宅介護支援センター虹の里	I 様
10	ケアセンター介護福祉士会	J 様
11	エイプレイス麻生 (所長)	糸山
12	エイプレイス麻生 (管理者)	中山
13	エイプレイス麻生 (看護師)	小林
14	エイプレイス麻生 (オペレーター)	牧

### ● 議事

1	開会のあいさつ・参加者紹介
2	サービス提供状況の報告
3	伝達事項
4	その他 (質疑応答・意見交換)
5	閉会のあいさつ

● 記録

議事 1	開会のあいさつ
中山	<p>前は1月に開催致しまして、あっという間に3か月が経ちました。再びお集まり頂いて非常に感謝しております。毎回皆様に貴重なご意見を頂きまして、今回も色々ご意見をいただければと思っておりますので宜しくお願い致します。</p>
議事 2	サービス提供状況の報告 当日配布資料にて
榎山	<p>定期巡回におきまして、国の意向もありながら、なかなか普及出来ていない現状がございます。川崎市の方の取り組みとしまして、地域連携型がございます。「地域連携型サービスとは」という川崎市のホームページのものをお配りさせて頂きました。定期巡回は24時間365日運営がございまして、なかなか1つの事業所で多くの方に届けるのは難しい現状がございます。地域の介護の事業所様と連携しながら「エイプレイスが…」ということではなく、「定期巡回というサービス自体が」という考えで、連携型の構築を進めさせていただいております。</p> <p>まだまだ課題もありますが、市の担当の方のご協力を得ながら、なんとかこの制度自体が広まっていけば、ということに取り組んでおります。内容としては、ある利用者様に対して定期巡回サービスを届ける中で、訪問介護事業者様にも連携頂いて、日中の定期巡回、または可能であれば都度の随時訪問という具合に、部分的にお願いさせていただいております。夜間帯、緊急コール受付（随時対応）は弊社で対応させていただいております。生活アセスメントとして、情報の共有が日々大事になってくると思うのですが気付いた点などは都度報告を頂いております、お互いに情報共有しながら、利用者様を支えていくというような仕組みになっております。</p>
議事 3	伝達事項 当日配布資料にて
議事 4	質疑応答 意見交換
参加者様	実績にある移動時間っていうのはケアに入った家から次の家への時間ですか、事業所からの時間ですか？
中山	移動時間は事業所からの時間です。
参加者様	移動手段は車ですか？
中山	車を想定した移動時間ですが、自転車でも時間的にはほとんど変わらず、むしろ自転車の方が早いこともあります。
参加者様	ケアの内容ですが、オムツ交換や清拭などが入ってくると思うのですが、清拭は何曜日にするとか、オムツ交換は何時に入るとか、もちろんケアマネジャーがプランを立てるのですが、そちらである程度考えて貰えるのでしょうか？
中山	だいたいプランを頂いてそれで計画を立てて、例えば、実際ケアに入ってみると清拭するつもりだったけどその時には必要がなく、少し時間や曜日変更することがあったりします。ケアマネジャーさんが作って下さったプランから逸脱してということはないです。
榎山	定期巡回は計画作成責任者がケアの日時だったり内容だったり調整できるとありますが、あくまでケアマネジャーさんが立てて下さったケアプランを基に、調整というレベ

	ルですので、ケアマネジャーさんと相談させて頂きながらやっております。
参加者様	「この方は定期巡回でちょこちょこ入ってもらいたい」となった時にお願いしているのですが、私は「だいたいこんな内容」という事をお伝えして、細かい事は言わずにお願いしています。一日何回ぐらい、何時に入るかとかは実際、介護に入る人がやってみて、少しずつその人に合うように変わっていくので、ざっくりした内容でお願いすると「こんな感じがよさそうですよ」と返ってくる形が多いです。
靱山	時間が限定されてしまうと、なかなか難しくなってしまうこともありますので、ちょっと幅をもって依頼していただくと幸いです。今日の今日というケースありまして、ちょっと様子が分からないのでとりあえず行って見て、アセスメントさせていただくと、「こんな状況で、こんなことが必要で」と後から色々見えてきて、日々調整しながら決まっていくケースも多いです。
中山	やる事が決まっても、その通りにならない事も結構ありまして「じゃあ今日はこっちをやっておこうかな」という時もありますが、内容によっては1週間の中で出来ればいいかなと思うものもあるので、1つ1つ細かくというよりは、全体的に捉えているイメージです。
靱山	定期巡回サービスは24時間繋がっているので「このケアが終わって我々が帰った後、次のケアが入る間にこの方はどうなるのだろう」という流れをみながらケアをするよう意識しております。そうするとあまり時間を限定する必要もないように感じています。
参加者様	訪問介護の時は「この時間でこれをやらしてもらえれば」というプランになるけど、定期巡回サービスをお願いする時って、生活自体が心配な方だから様子を観てもらいたいということが大きくて、ちょこちょこ様子を観てもらえれば何かがあっても「また次入るよな」という私たちの安心感もあるから、生活自体が心配な方は定期巡回サービスがいいですね。「これさえやらしてもらえれば大丈夫」という事であれば定期巡回サービスじゃなくてもいいんだろーと思います。だから定期巡回をお願いする時は「この時間に絶対これをやらしてもらいたい」というプランは立てないです。
靱山	一例ですが、先日のことですが、昼食配膳に行くという内容の方がおりました、昼食の配膳に行ったのですが、その時に夕飯が無いということになり「じゃあ夜はどうする」とのことで夕食の対応をさせていただいたという事がありました。今やるべき事はもちろんですが、その後の流れ、その方の生活を流れで見えていけるように事業所内でも意識づけをしております。
参加者様	今後ですけど、経管栄養とか吸引とかお願いできるようなにはならないですか？
靱山	「吸引できますか？」というお問い合わせも頂くのですが、現状はできない状況です。社内としても24時間サービスを行っていく上では当然必要な事だと認識はあるのですが、まだ、具体的に組み立てていない状況です。
参加者様	サービスの質からして、今後どんどん定期巡回が入っていくことになると思います。だけど現状として吸引や経管栄養はご家族や訪問看護師さんがやっていますよね。それがもし定期巡回サービスでできるようになると、利用の幅が広がるのではと思います。
参加者様	吸引が必要な方って老健でも断られちゃうんですよね。ショートステイも断られちゃう

	て、本当に居場所がなくなっちゃって療養型の病院もあるのですが、生活をするって考えるとちょっと違うような気がして。
参加者様	今まで療養型のクリニックで受け入れてくれる所もあったんですけど「外部の方はショートステイは受け入れません」って断られてしまって、そこを利用していた方も10年以上ご主人が介護されていて、ショートステイも行けなくなったから、吸引があるがために、ご主人が自分の通院もままならなくなっている状況があるんです。そんなに需要は多くないのかもしれませんが実際には必要なことですよ。
参加者様	うちの事業所は、サービス提供責任者はみんな研修を終わっていますが、研修を終わってもその後、指導を受けなければ使えない訳でして、その指導を受ける所が見つからないんです。指導の出来る看護師さんのいる事業所から直接指導を受けなければ認めてもらえないってことなので、みんな座学で終わってストップしているという状況です。吸引が必要な利用者様が入っている看護ステーションに、きちんと指導のできる方がいればその方に指導を受けて対応する、という体制はできています。誰にでもできる訳ではなく、その方の為の指導を受けて、その方のためだけならOKですという形です。実際対応するとすると、指導を受ける期間、OKが出てから申請をして、申請のOKが出てからとなるので少しロスタイムが出てくると思います。
参加者様	指導を受けたからOKということではなくて、そこから又申請しなきゃいけないってことですか？
参加者様	そうなんです。ですから早急に対応というのがちょっと難しいかと思います。
参加者様	まだ実例はありますか？
参加者様	他の看護ステーションを持っている事業所では実例も出てきていますが、全体的にはまだ足踏み状態が続いています。
参加者様	もしお願したら対応して頂けますか？
参加者様	対応する心づもりはありますが、今のところヘルパーは研修を受けていないので、サービス提供責任者が対応させていただくことになると思います。
参加者様	定期巡回サービスはその人の一日の流れで観ていけるので、訪問介護で入るより気負らずに入れるような感じがしています。時々悩むことがあります。時々悩むことがあります。時々悩むことがあります。時々悩むことがあります。時々悩むことがあります。
参加者様	他にやる人が居なくて、それによって生活に支障をきたすことがあります。
参加者様	訪問介護では決められたこと以外はやってはいけないのですが、定期巡回サービスだと決められたこと以外でも必要ならやることもありますし、そうなる「やってもいいのかな」と思うことがあります。
参加者様	やっぱり法的にはダメなんですかね？
榎山	介護保険上のサービスなので、老計に定まっているのに準ずる形です。
参加者様	「明らかにこのままだと、この人は外に出てこれをしてやって転ぶだろうな」というのが分かっている、でもそれをしてはいけないとなるとどうしたらいいのかわかりません。

中山	危険性があることならケアマネジャーさんに報告して相談することになります。
参加者様	無理な時はケアマネジャーも巻き込んで一緒に考える方がいいです。繋げる家族が居れば、当然家族なのでしょうけど、そうじゃない場合はケアマネジャーですよ。
参加者様	「まあいいだろう」とやっちゃって、何かあった場合困りますからね。昔は何となくやったりすることもありましたけど、何年か前から厳しくなったじゃないですか。だから、電球の取り換えだったら電気屋さんに頼んだりしています。
参加者様	訪問介護も定期巡回も同じなのですが、定期巡回だとついついやっちゃってしまってます。もう一度立ち返ってみます。
参加者様	サービスが始まった頃は何でもありでしたけど、長年やっているとやっぱりそうじゃないなと思いますよね。きりがありませんからね。
参加者様	制度で「ダメだよ」と言われていることってヘルパーさんを守ることだと思うんですね。わがままな利用者様もいるだろうし、何でもかんでもとなるときりが無くなっちゃうから、ヘルパーさんの身を守るためにも制度で制限されているんだろうけど、ただそれはそれとして臨機応変に考えなきゃいけない時もあるかなと思います。規則は当然守らなきゃいけないんだけど「規則だからできません」ではそこで終わっちゃって、それで本当に困っている方はどうすればいいのかってことになるし、自分で出来ないと思ったら、どこに繋げるか、誰に繋げて対応してもらおうかといことを常に考えて「そこまで対応したけどできませんでした。だけどこっちに言っておきますね」とかしておけば、自分の責任で終わらないで済むかなと思いますね。
参加者様	以前色々な事業者が集まった会議の時に、事例を発表されていたのですが、ヘルパーさんの仕事内容で「犬の散歩」というのがあって、小規模多機能で引き受けたところがあって、他事業所は賛同しなかったのですが、事業所ごとで全然違うなと思いました。
靱山	介護保険事業所の一つとして「他の事業者さんはどうしているかな」とか、全体として足並みを揃える意識は必要だと思います。
参加者様	足並みは揃えた方が、サービスは提供しやすいと思います。
靱山	介護サービスとして再確認、再認識していきたいと思います。
参加者様	うちの事業所では500円のワンコインサービスという形態がありまして、利用される方には自費契約をしていただいております。今行っている所では「猫のトイレとご飯」というのがありまして、訪問介護のケアが終わってから、その後、延長してワンコインサービスを行います。
靱山	ワンコインは何分とか時間は決まっていますか？
参加者様	介護が終わった後、引き続き後ろにつけた15分です。介護保険ではできないけどヘルパーさんが出来る程度の事です。
小林	15分で出来ることなら、異なる2つの内容のことでお願い出来るのですか？
参加者様	15分で出来れば大丈夫です。
靱山	ありがとうございます。参考にさせていただきます。
参加者様	利用者様の人数が増えていないけど、採算は大丈夫か、というところが心配です。
靱山	去年10月～11月で、ご逝去、ご入院、施設入所などの理由で、一月に10名減ってしま

	いました。そこから収支上かなり厳しい状況が続いていまして、何とか盛り上げていこうと頑張っておりますが、まだまだ厳しい状況ではあります。
参加者様	いいサービスだから、もっと広まれば利用したい人は結構いると思いますよ。
参加者様	看護小規模多機能なんかは、病院からすごく依頼が来ているんですよ。需要はあるからそういうところに入っていければいいですね。
参加者様	連携されている事業所さんをお願いする時は、どこをお願いするかの判断基準ってあるのですか？
靱山	このチーム型に関しましては、川崎市の取り組みでもありまして「色々な事業者様に関わっていただく」という意図もありますので、出来る限り、可能であればお願いしております。例えば近くの事業所様に依頼させていただくとかですが、特に基準はございません。ただそこで懸念されるのが、情報共有です。そこは慎重にやっていかなければならないと思っております。出来るだけ多くの方に定期巡回というサービスに関わっていただきたいと思っております。
中山	本日はどうもありがとうございました。今回もまた貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考にさせて頂きたいと思っております。また次回は3か月後にございますので、是非ともご参加ください。

作成者	靱山 中山 小林 牧
-----	------------

以上